

78, 1 0460

參

逓信省
正務課

番受

號領

歐美第九口五號

題名 伸事課

浮虜收容所設備 關スル件

大臣

次官

高級副官

主務副官

主

計

件名

決裁

參事官

主務課長

主務課員

主務局長

主務課長

主務局長

主務課長

主務局長
課長
大臣
官房
了
天正
年
十月
七日

大正
年
十月
三日

聯帶扁

參事官

主務局長

主務課長

主務課員

主務課長

主務課員

主務課員

主務課員

副官ヨリ留守第十八師團參謀長、

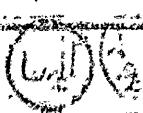
會計監督部長へ通牒案(國發佈)

又留米・俘虜收容所設置ニ關レニカ經
理其ハ他々専別紙ノ通被定候 準及通牒
候也

明治三十五年九月

十一月五日

俘虜取扱規則在細則等於テ大体規定
之を尚細節、周シ指示凡要アリ由ル



0462

一、 俘虜 将校 同相當者 三支給スル 債給ハ 俘虜 収容所ニ 収容シタル日ヨリ 同 収容所ノ 離ル日迄ニテ 給ス

二、 前項 債給ハ 前金渡 ヲナスコトヲ 得ス

三、 将校 同相當者ニ 債給ヲ 支給シタルトキハ 俘虜 債給支給表 様式第一ヲ 調製シ 所管經理部ヲ 経テ 陸軍會計監督部ニ 提出スルコト

四、 俘虜ノ被服 寝具等ハ 其ノ必要アルモノニ 限り別表呂種員數ヲ 標準トシ 貸與スルコト 得

五、前項被服ハ左ノ区分依リ 總テ所管師團ノ在庫
品ヲ應用スルコト

1、患者用被服中縷、病衣、襯衣、帶
以上六所管師團經理部在庫ノ戰用品ヲ應用

スルコト

2、其、他、被服品ハ委任經理ニ屬スル在庫古品
ヲ應用スルコト

六、被服、洗濯ハ俘虜各輪々シテ行ハシメ修理ノ為
三、收容所ニ必要ノ器具ヲ備附、俘虜中縷、靴
工ヲ為シ得ル者ヲシテ修理ニ從事セシムルコト之
カ為所要ノ修理用器具ハ所管師團内ニ於ケル

委任經理ニ属スルモノヲ應用セシムルコト

七、伴虜取扱細則第十六條第二項ニ依リ傭人ヲ附ス

ルハ從卒ヲ使用シ得サル場合ニ限ルコト

八、炊爨及溫浴ニ要スル燃料代ハ糧食費定額内於

テ支辨スルコト

九、在来寺院及公會堂等ヲ利用シタル場合ニ於テ

八、廁、庖厨、浴室、哨舎、竹矢束等、附屬構築物

ハ止ムヲ得サルモニ限リ新築ス但シ其ノ構造等ハ

努メテ簡單ニシ一時的設備ニ止ムルコト

十、前項附屬建物新築並在来建物模様替等ニ

要スル経費ハ伴虜一人當九円以内、維持費

ハ臨時構築物補修費及借家料ヲ併セ一ヶ月
併處一人當一円以内ヲ標準トスルコト

其陣營具數ハ併處取扱細則第三十三條ニ依リ努
メテ在庫品ニ應用シ止ムヲ得サル不足品ニ限り新

調入ルコト

患者ニハ寢臺ヲ貸與シ得ルコト

十二、第九乃至第十一項ニ係ル所要ノ経費ハ算出明
細書ヲ添ヘ豫々陸軍大臣ノ認可ヲ受クルコ
ト但シ建築費ハ別ニ設計要領圖書ヲ添付スル
コト

十三、衛生材料ハ所在地衛戍病院ヨリ所要ノモノヲ交

付セシムルコト

前項ノ衛生材料ハ成ルヘク在庫品ヲ應用シ新
調ヲ要スル器械ニ在リテハ第十二ニ準シ陸軍
大臣ノ認可ヲ受ケルコト

別表

俘虜用被服袋與
軍需品分表

將校同相當者
准士官同相當者
下士以以下者

患者用

本人著裝品便

用堪者

限必要之品種

限之品種

敷枕	靴	編	冬	外	衣	帽
上	襦	襦	袴	袴	袴	袴
布	(覆)	下	靴	袴	袴	袴
	先		下	下	下	下

二 一

二 一

二 一

毛	綿	紗	帶	襯	衣	布
蒲						
蓆						

六

六

一一二一六

備
者
一 將校同相當者ニ貸與スル縉具ハ古品中ノ
最良品トス
ニ 毛布ハ氣候、關係ニ依リ貸與數ヲ適宜
増減スルコトヲ得

様式 第一

大正年分 併虜俸給支給表 (福岡) (横画) 何々併虜收容所

本月余支給額 前月追支給額

計

階級

氏

名 摘

要

(印)

計

一、洋虜、國籍異士、毎三別表ニ調製スルコト

二、人員、異動及各人支給額ニ異動ヲ生レタルトキハ

其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スルコト

三、本表八月次決算ノ都度提出スルモノトス

題

0469